

市議会だより

はまだ

Vol.25

平成24年(2012年)5月1日発行



本会議場で個人一般質問の傍聴や市議会のしくみなどについて学習する市内の小学生たち
(最終ページに関連記事を掲載)

浜田市民の心と特産品を届ける

市民の皆様へお願いをして集まった義援金は、市の支援や浜田市中央水産加工協同組合のご協力により、浜田の特産品である「アジみりん干し」や「ササかれい」など合計4,873 パックを購入し、2月3日から6日の間で、宮城県気仙沼市と福島県相馬市の仮設住宅にお住いの全戸へ届けさせていただきました。

お届けの際、その笑顔にも象徴されるように、現地の皆さんは大変喜んでおられ、浜田市民の心もあわせて、お届けすることができたと思います。

改めまして、市民の皆様のご協力に対し感謝申し上げます。

ありがとうございました。

3月 定例会

注目の記事

原発の即刻廃止にNO ! (2ページ)

美又地域再開発事業 (4ページ)

議会報告会を開催します (16ページ)

3月定例会の あらまし

た。本事業の議案提出の経緯や効果、また基本的な考え方などについて、4人の議員から質疑があつたところです。

また、浜田市暴力団排除条例の制定については、市民がターゲットになつた場合、その対応の記述を求める質疑がありました。そして、一般会計補正予算については、大震災関連の減額内容の詳細な説明と、県知事のがれき処理の報道に対する市の考え方について質疑がありました。

今議会の概要として、
本会議の議案質疑では、
6名の議員から、3件の
議案について質疑があり
ました。

平成24年3月浜田市議会定例会が2月23日に招集され、3月15日までの22日間の会期で開かれました。今定例会で提出された議案は、市長から提出された議案が58件、議会から提出した議案が議員提出の意見書議案も含めて2件、そして、請願が1件でした。なお、審査の様子は2ページから4ページに、採決の結果等は6ページに掲載しています。

また、会派代表質問には各会派の代表者5名が、個人一般質問には14人が質問をしました。

なお、今年度より各地域で開催される議会報告会については、開催日時や開催会場など16ページに掲載しております。

島根原発の即刻廃止に 委員会はNO!

— 總務文教委員會 —



本会議採決時の様子

があり、執行部からは、広くPRするために、広報はまだやホームページページ、チラシの配布や行政連絡員会議等での周知などを行う。暴力団に関して困ったことが起り、警察等には相談しにくいう場合も、市に相談してもらい、より市民が相談しやすい体制を整えていくと説明がありました。

「**指定管理者の指定について**（サン・ビレッジ浜田）」は、スポーツ庺場が天然芝から人工芝に変わることによる指定管

総務文教委員会は16件の案件、請願1件について、審査を行いました。

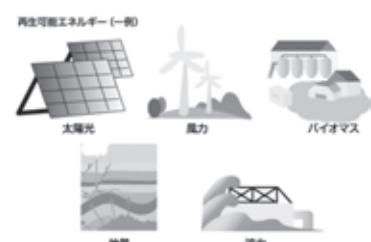
「島根原発をなくし、再生可能エネルギーへの転換を求める意見書の提出について」の請願は、原発の安全性について、国の動向や電力会社の方々の動向もしつかり確認した上で判断すべきであり、継続審査とすべきだとの意見がありました。が、賛成少数で継続審査は否決されました。



人工芝のサン・ビレッジ近田

理料の変化についてや市と指定管理者者間の収益の配分について、アイススケート場の管理運営について、全国には優れた管理能力を有するところもあり、公募が望ましいのではないか等、様々な視点から質疑があり、執行部から詳細な説明がありました。

しか稼動していない状況下においても需要がまかなえているという意見がありました。



健康づくりと地域医療を守り育てる条例を制定

— 福祉環境委員会 —

福祉環境委員会には、議案6件が付託されました。

このうち、「浜田市健康づくりと地域医療を守り育てる条例の制定」については、健康づくりと地域医療を守り育てるための基本理念、市、市民事業者及び医療機関の役割を制定するもので、その周知方法等について質疑があり、健康教室、各種検診会場等の機会を利用し、住民啓発を行つてくとの答弁がありました。

「浜田市簡易水道給水条例の一部を改正する条例」については、三保簡易水道及び三隅簡易水道のクリプトスボリジウムの位置を同校舎内に変更するため所要の条例改正を行うもので、入所対象児童の考え方について質疑がありました。



ラ・ペアーレ浜田

「ラ・ペアーレ浜田条例の一部を改正する条例」は、管理の期間を5年に変更することに伴い、条例改正を行うもので、施設の利用者数、事業内容等について質疑がありました。

(原虫) 対策として、紫外線処理施設を建設するにあたり、三保簡易水道に統合するため条例改正を行うもので、簡易水道と給水人口との関係や統合の理由について質疑があり、給水人口5千人を基準に簡易水道と上水道の区分がされること。処理能力のある施設を国から支援を受け建設でき、効率的な事業運営を行うことができるとの答弁がありました。



旧今福デイサービスセンター

「財産の無償譲渡（旧安城保育所）」については、譲渡の相手方を社会福祉法人みかわとするものです。また、「財産の無償譲渡（旧今福デイサービスセンター）」については、譲渡の相手方を特定非営利活動法人Beiningとするもので、採決の結果、それされ全会一致で可決すべきものと決しました。



長浜小学校の放課後児童クラブ

ラ・ペアーレ浜田の位置を同校舎内に変更するため所要の条例改正を行うもので、入所対象児童の考え方について質疑がありました。

中央図書館建設の工期 来年5月末までを予定

— 産業建設委員会 —

産業建設委員会では、付託された議案8件と陳情1件について、審査を行いました。

うかなどの質疑がありました。これに対して消費税込みの契約金額であり、工期については、議決を受けた翌日から平成25年5月31日までとしているとの見解が示されました。

その他、6件の議案については特に問題となる質疑もなく、付託を受けた全ての議案8件について、審査を行い、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

その他の、6件の議案については特に問題となる質疑もなく、付託を受けた全ての議案8件について、審査を行い、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

建設部からは、当該地域は地すべり地帯であり、拡幅工事に伴う悪影響が出ないか等について、平成24年度に調査をし、予算調整も行いながら、であります。



浜田市立中央図書館の完成イメージ

「浜田市立中央図書館建設に伴う建築主体工事の工事請負契約の締結」については、消費税込みの契約金額が、工期はどのように質疑を行いました。



陳情の現地視察 (櫟田原町)

建設部からは、当該地域は地すべり地帯であり、拡幅工事に伴う悪影響が出ないか等について、平成24年度に調査をし、予算調整も行いながら、であります。



陳情の現地視察 (櫟田原町)

予算議案23件を

3日間にわたり審査

3月8日から13日までのうち3日間で、予算審査委員会を開催しました。23年度一般会計予算などや新年度一般会計予算など、全部で予算議案23件に対し、延べ37人が質疑に立ちました。審査の結果、23件すべてを全会一致で可決すべきものと決しました。

予算審査委員会

予算審査委員会に審査を付託された、予算議案23件のうち、平成24年度浜田市一般会計予算のなかから、特に質疑が集中した事業と、そのやりとりの概要を報告します。

総務文教委員会関係では、老朽化したスクールバスの更新及び学校統



三隅自治区のスクールバス

合に伴う新たなスクールバスを購入するスクールバス更新事業では、更新するバスの性能やラッピングの統一などについて質疑があり、4WDを装備したバスは購入が難しい、ラッピングの統一については検討したいとの答弁がありました。

備計画を策定する火葬場事業内容や検討組織、必要な炉数などの質疑があり、浜田の火葬場が一番古く、いろんな意見を取り入れ検討する。1万5千人が1炉の目安であるなどとの答弁がありました。



老朽化が著しい浜田市火葬場

整備計画策定事業では、代表者とのヒヤリングによりチェックしていくとの答弁がありました。

また、美又地域の活性化を図るため、美又温泉街とその周辺地域の開発を行つ美又地域再開発事業では、終盤に質疑が集中し、予算説明と先の委員会での資料説明の整合性がない、このような予算資料の提示はなし崩し的になるので、大きな問題、指定管理者との協議が未だになされていないのはどうか、などの厳しい指摘があり、執行部からは、お詫びとともに、予算説明資料の訂正がありました。

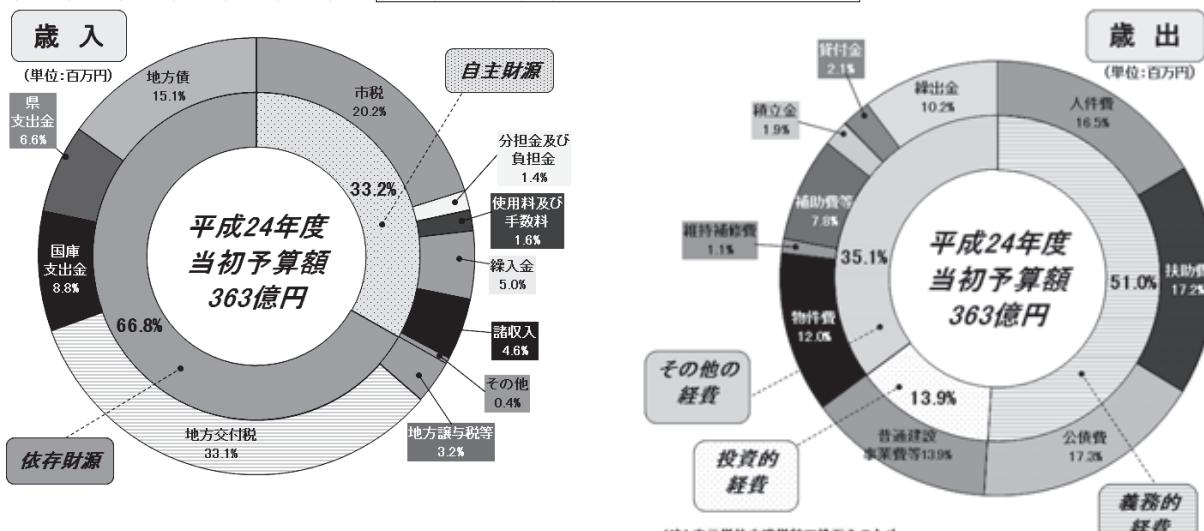
また、再就職やスキルアップを目指す看護師への支援や中高生の職場体験等を行う看護師スキルアップ・ラボ事業では、事業効果と受講後の看護師の動向などについての質疑があり、受講者の3分の1は復職し、定住に結びつく効果などがあると答弁がありました。

産業建設委員会関係では、集落内において、集落自ら守るべき農地の保全計画を策定し、未舗装の農道を地元への原材料支給により整備する地域参加型農道整備事業について、条件や計画の

チェック体制などについて質疑があり、自ら計画を立てて、農地保全プランを作つてもらう。また、代表者とのヒヤリングによりチェックしていくとの答弁がありました。

また、美又地域の活性化を図るため、美又温泉街とその周辺地域の開発を行つ美又地域再開発事業では、終盤に質疑が集中し、予算説明と先の委員会での資料説明の整合性がない、このような予算資料の提示はなし崩し的になるので、大きな問題、指定管理者との協議が未だになされていないのはどうか、などの厳しい指摘があり、執行部からは、お詫びとともに、予算説明資料の訂正がありました。

平成24年度一般会計予算の概要



(注)表示単位未満単純四捨五入のため、集計は必ずしも一致しない場合があります

平成24年3月定例会で 可決された主な事業

目指せ！ 対ロシア貿易拡大

一浜田市内にロシアビジネスサポートデスクの開設
貿易支援体制の強化と貿易拡大

○浜田港ロシア貿易拡大プロジェクト負担金

○概要 ①中古車輸出支援
②RORO船航コンテナ補助
③シーゲル複合一貫輸送支援
④ビジネス支援 ⑤建材販路拡大支援
⑥食品販路拡大支援 他

○予算額 1,453万円



耐震診断から体育館改築へ！

一災害時の避難所として周辺整備化へ

○弥栄中学校体育館改築事業

○概要 総事業費 4億1,704万7千円
鉄骨造960m²
平成26年7月完成

○平成24年度事業計画

用地取得、敷地造成、建物実施設計

○予算額 6,691万7千円



防げ！ 森林の荒廃に林業ビジネスモデル

一コスト削減、生産性向上、持続可能を目指す

○豊かな海を育む浜田の森づくり事業

○概要 林業機械作業システム整備補助金

①林業機械導入ITシステム ②ハーベスター、
フォワーダ ③路網の整備 ④人材育成 ⑤戦略的木材販売 ⑥木質バイオマスのビジネス化

○予算額 519万9千円



決定！ 骨髄等提供者を支援！

一提供希望者の増加により移植へ期待！

○骨髄バンクドナー支援事業

○概要 骨髄バンク事業のドナー候補者が円滑
骨髄等の提供できる環境へ

○支援 入通院1日あたり2万円(上限7日)
浜田市民で骨髄等の提供をされた方

○予算額 42万円



意見書を関係機関へ提出

こころの健康を守り推進する基本法(仮称) の制定を求める意見書

今日の日本は、「国民のこころの健康の危機」と言える状況にあります。それは、平成23年7月6日に厚生労働省が、4大疾患(がん、脳卒中、心臓病、糖尿病)に新たに精神疾患を加えて5大疾病とする方針を決めたことにも表れています。

この背景には、平成20年の患者調査で、糖尿病患者237万人、がん患者152万人などに対し、精神患者の患者数は323万人と最も多く、国民に広く係わる疾患となっていること、また、毎年3万人を超える自殺者の約9割は何らかの精神疾患に罹患していた可能性があるとされているためです。

平成20年度から21年度にかけて厚生労働省は、「今後の精神保健医療福祉のあり方等に関する検討会」を設け、現状を網羅的に明らかにし、今後の望まれる施策を報告しました。この報告をもとに、平成22年4月に当事者・家族・医療福祉の専門家及び学識経験者による「こころの健康政策構想会議」が設立されました。

この会議では、当事者・家族のニーズに応えることを軸に捉えて会議を重ね、現在の危機を早く根本的に改革する提言をまとめ、平成22年5月末に、「こころの健康政策についての提言書」が厚生労働大臣に提出されました。

この提言書の中で、精神医療改革、精神保健改革、家族支援を軸として、国民すべてを対象とした、こころの健康についての総合的、長期的な政策を保障する、「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の制定を強く求めています。

よって、政府及び国会におかれでは、国民のこころの健康の増進を図るために、「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」を早急に制定するよう強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成24年3月2日

浜田市議会

請願の委員長報告に対する 2名の議員が討論

委員長報告に対する
反対討論

★西村
健
議員



本会議で請願を採決時(挙手採決)

委員長報告に対する 賛成討論

★佐々木
豊治
議員

需要は島根原発なしでも十分に分賄えるし、自然の豊かな福島原発事故は、①いまだ人類は、放射性物質を原子炉内部に安全に閉じ込めておく手段を手に入れていない。②ひとたび外部に放出された放射性物質の被害を空間的、時間的、社会的に限定することは不可能などの教訓を与えた。また、中国地方の電力工エネルギーや省エネエネルギーあげての再生可能

委員長報告に対する
反対討論

★西村 健 議員

福島原発事故は、①いまだ人類は、放射性物質を原子炉内部に安全に閉じ込めておく手段を手に入れていない。②ひとたび外部に放出された放射性物質の被害を空間的、時間的、社会的に限定することは不可能などの教訓を与えた。また、中国地方の電力工エネルギーあげての再生可能

需要は島根原発なしでも十分に分賄えるし、自然の豊かな福島原発事故は、①いまだ人類は、放射性物質を原子炉内部に安全に閉じ込めておく手段を手に入れていない。②ひとたび外部に放出された放射性物質の被害を空間的、時間的、社会的に限定することは不可能などの教訓を与えた。また、中国地方の電力工エネルギーあげての再生可能

委員長報告に対する
賛成討論

★佐々木 豊治 議員

需要は島根原発なしでも十分に分賄えるし、自然の豊かな福島原発事故は、①いまだ人類は、放射性物質を原子炉内部に安全に閉じ込めておく手段を手に入れていない。②ひとたび外部に放出された放射性物質の被害を空間的、時間的、社会的に限定することは不可能などの教訓を与えた。また、中国地方の電力工エネルギーあげての再生可能

請願・陳情の審査経過および結果

—平成24年3月定例会審査分—

| 区分 | 請願・陳情の内容 | 提出者 | 審査した委員会および結果・経過等 |
|----|----------------------------------|---------------------------------|------------------|
| 請願 | 島根原発をなくし、再生可能エネルギーへの転換を求める意見書の提出 | 原発ゼロをめざす島根の会 代表者 舟木 健治 様 外5名 | (総務文教委員会) 不採択 |
| 陳情 | 市道櫟田原中央線拡幅工事 | 櫟田原自治会 会長 三浦 一朋 様 外44名 | (産業建設委員会) 採択 |

3月定例会 議案などの採決結果

| 【条例】 | 採決結果 | 採決状況 |
|--|------|------|
| 浜田市行政組織条例等の一部改正 | 原案可決 | 全会一致 |
| 浜田市移動通信用鉄塔施設条例の一部改正 | 原案可決 | 全会一致 |
| 浜田市暴力団排除条例の制定 | 原案可決 | 全会一致 |
| 住民基本台帳法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 | 原案可決 | 全会一致 |
| 浜田市生活路線バス条例の一部改正 | 原案可決 | 全会一致 |
| 浜田市特別会計条例の一部改正 | 原案可決 | 全会一致 |
| 浜田市税条例の一部改正 | 原案可決 | 全会一致 |
| 浜田市手数料条例の一部改正(建設部関係) | 原案可決 | 全会一致 |
| 浜田市手数料条例の一部改正(消防本部関係) | 原案可決 | 全会一致 |
| 浜田市教職員住宅条例の一部改正 | 原案可決 | 全会一致 |
| 浜田市立図書館協議会条例の一部改正 | 原案可決 | 全会一致 |
| 教育施設に係る指定管理者の管理期間の変更に関する関係条例の整備に関する条例の制定 | 原案可決 | 全会一致 |
| 浜田市健康づくりと地域医療を守り育てる条例の制定 | 原案可決 | 全会一致 |
| ラ・ペアーレ浜田条例の一部改正 | 原案可決 | 全会一致 |
| 浜田市放課後児童クラブ条例の一部改正 | 原案可決 | 全会一致 |
| 浜田市地域集会施設等条例の一部改正 | 原案可決 | 全会一致 |
| 浜田市農林業関係事業分担金徴収条例の一部改正 | 原案可決 | 全会一致 |
| 浜田市営土地改良事業に要する経費の賦課徴収に関する条例の一部改正 | 原案可決 | 全会一致 |
| 都市公園施設等に係る指定管理者の管理の期間の変更に関する関係条例の整備に関する条例の制定 | 原案可決 | 全会一致 |
| 浜田市簡易水道給水条例の一部改正 | 原案可決 | 全会一致 |
| 浜田市営住宅条例及び浜田市一般市営住宅条例の一部改正 | 原案可決 | 全会一致 |
| 浜田市営地域定住住宅条例の一部改正 | 原案可決 | 全会一致 |
| 浜田市火災予防条例の一部改正 | 原案可決 | 全会一致 |

| 【一般事件】 | 採決結果 | 採決状況 |
|---------------------------------|------|------|
| 指定管理者の指定(サン・ビレッジ浜田) | 原案可決 | 全会一致 |
| 財産の無償譲渡(小国教職員住宅) | 原案可決 | 全会一致 |
| 財産の無償譲渡(旧安城保育所) | 原案可決 | 全会一致 |
| 財産の無償譲渡(旧今福デイサービスセンター) | 原案可決 | 全会一致 |
| 財産の無償譲渡(下谷集会所) | 原案可決 | 全会一致 |
| 財産の無償譲渡(上田野原集会所) | 原案可決 | 全会一致 |
| 財産の無償譲渡(小熊集会所) | 原案可決 | 全会一致 |
| 財産の無償譲渡(山賀集会所) | 原案可決 | 全会一致 |
| 財産の無償譲渡(野坂集会所) | 原案可決 | 全会一致 |
| 工事請負契約の締結(浜田市立中央図書館建設に伴う建築主体工事) | 原案可決 | 全会一致 |
| 市道路線の廃止・認定 | 原案可決 | 全会一致 |



本会議のもようを見学・傍聴する旭町の小学生のみなさん

| 【平成24年度当初予算関連】 | 採決結果 | 採決状況 |
|-----------------|------|------|
| 一般会計予算 | 原案可決 | 全会一致 |
| 国民健康保険特別会計予算 | 原案可決 | 全会一致 |
| 駐車場事業特別会計予算 | 原案可決 | 全会一致 |
| 公設水産物仲買売場特別会計予算 | 原案可決 | 全会一致 |
| 国民宿舎事業特別会計予算 | 原案可決 | 全会一致 |
| 公共下水道事業特別会計予算 | 原案可決 | 全会一致 |
| 農業集落排水事業特別会計予算 | 原案可決 | 全会一致 |
| 漁業集落排水事業特別会計予算 | 原案可決 | 全会一致 |
| 生活排水処理事業特別会計予算 | 原案可決 | 全会一致 |
| 簡易水道事業特別会計予算 | 原案可決 | 全会一致 |
| 後期高齢者医療特別会計予算 | 原案可決 | 全会一致 |
| 水道事業会計予算 | 原案可決 | 全会一致 |
| 工業用水道事業会計予算 | 原案可決 | 全会一致 |

| 【平成23年度補正予算関連】 | 採決結果 | 採決状況 |
|-----------------------|------|------|
| 一般会計補正予算(第4号) | 原案可決 | 全会一致 |
| 国民健康保険特別会計補正予算(第2号) | 原案可決 | 全会一致 |
| 公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) | 原案可決 | 全会一致 |
| 農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) | 原案可決 | 全会一致 |
| 漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) | 原案可決 | 全会一致 |
| 生活排水処理事業特別会計補正予算(第1号) | 原案可決 | 全会一致 |
| 簡易水道事業特別会計補正予算(第2号) | 原案可決 | 全会一致 |
| 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) | 原案可決 | 全会一致 |
| 水道事業会計補正予算(第1号) | 原案可決 | 全会一致 |
| 工業用水道事業会計補正予算(第1号) | 原案可決 | 全会一致 |

| 【議会・議員提出議案及び案件】 | 採決結果 | 採決状況 |
|--------------------------------|------|------|
| こころの健康を守り推進する基本法(仮称)の制定を求める意見書 | 原案可決 | 全会一致 |
| 浜田市議会委員会条例の一部改正 | 原案可決 | 全会一致 |
| 議員の派遣 | 決 定 | 全会一致 |

平成24年12月定例会で議員定数を決定

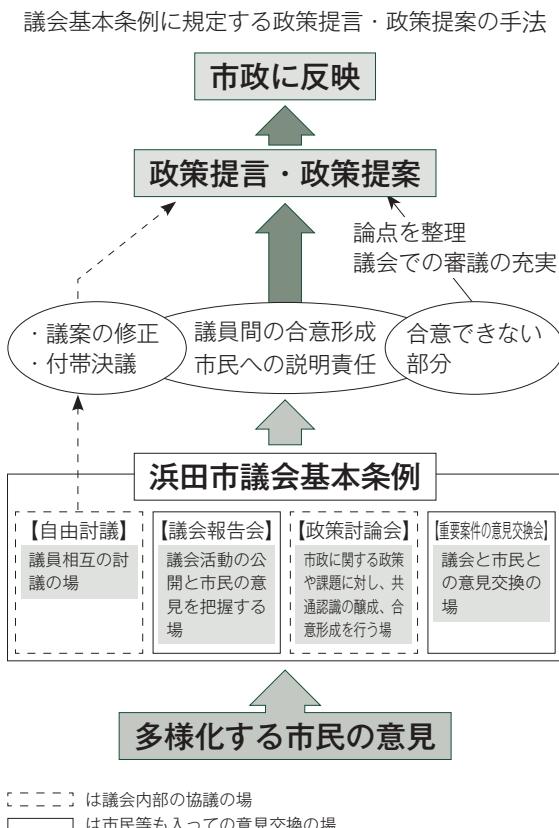
— 議員定数等議会改革推進特別委員会 —

現在、「議会改革全般」と、その一環である「議員定数のあり方」の2項目を柱として、7回の熱い議論を重ねています。

まず、「議員定数」に関する議論は、平成24年12月定例会で、定数条例の改正を目指して多角的な切り口から検討を行っています。具体的には、人口・面積・財政力指數等類似している自治体の議員定数との比較、予算、財政的な見地、常任委員会の構成人数からの積み上げ等、幅広い調査、議論を行ってきました。

これまでの検討で決定した事項としては、「選挙区を設けず全市1区で行う」「定数の上限は28名とし、それ以下の人数を検討」としています。今後は、県立大学の識見者との意見交換会、議会報告会における市民意見の聴取、8月に予定している「市議会だより」による市民アンケートを実施し、より住民の意見も参考にしてまいります。また「議会改革」に関しては、議会基本条例で謳っている「政策討論会」の実施手順等に関して、概ね規程を整備したところです。

(川神裕司 特別委員長)



当委員会は、今まで10回の特別委員会を開催しています。設置の目的、背景、運営方針などについては、平成22年11月1日発行の「市議会だより」に掲載しましたので、それ以後の活動について報告します。

平成22年10月28日の第4回特別委員会で、平成23年度から5年間の浜田市行財政改革大綱(案)が承認されました。

具体的な改革テーマとして、業務外部化の推進、総人件費の抑制、施設運営や事務事業の見直し、自主財源の確保など、全69項目で、5年間の財政効果22億円を見込んでおり、同年2月9日に審議の結果、行財政改革推進本部会議での実施計画を作成することについて、全会一致で承認しました。

これは、今年2月に設置された検討チームのなかで、参考意見として協議検討するよう求めました。(美浦美樹 特別委員長)

新たな行財政改革大綱・実施計画を承認

— 行財政改革推進特別委員会 —

について、審議の結果、公務災害事件の発生を受けて職場環境を改善する施策が必要との意見を付して全会一致で承認をしました。平成23年1月12日に開催された第5回特別委員会では、浜田市行財政改革実施計画の説明を受け、審議を行いました。

そして、今年3月14日には第10回の委員会を開催しました。議題は「かなぎウェスタンライディングパーク」で、担当課長から、外部評価委員会で当該施設は廃止という結論が出された経過と金城支所長から、詳細な説明がありました。

それに対し、委員からは、今後の運営方針、施設の存続・廃止を含めた検討、そして指名、公募など指定管理者選定方法など、これまでの管理運営の反省に立ち、早期に結論を出すべきとの意見が多くありました。



厳しい指摘をする特別委員会委員



かなぎウェスタンライディングパーク

会派代表質問

各会派の代表が施政方針と教育方針を問う

新年度方針

各分野別の施策を質す



牛 尾 博 美
創新会



質問 津波ハザードマップとして、東日本大震災から1年、浜田市津波防災計画の見直しがされているが、市民に分かりやすい津波ハザードマップの作成は。



答弁 津波の安全安心対策として、東日本大震災から1年、浜田市津波防災計画の見直しがされているが、市民に分かりやすい津波ハザードマップの作成は。

質問 津波ハザードマップは5月末までには市内全戸に配布したい。海拔表示板は市内900箇所の設置を予定。3月末までに、415箇所設置する。非難経路表示については、地域の皆さんと相談する。

答弁 津波ハザードマップは5月末までには市内全戸に配布したい。海拔表示板は市内900箇所の設置を予定。3月末までに、415箇所設置する。非難経路表示については、地域の皆さんと相談する。

質問 合併による財政支援措置が、平成27年に終了する。自主財源を増やす取組は。

答弁 浜田市の自主財源は全体の3分1で厳しい。普通交付税は平成28年から縮減方向で、基本的に税収確保が重要と捉え、雇用の拡大、企業への支援、農業生産の向上、企業誘致など経営安定と自主財源確保に取組む。

質問 来年度から大幅な保険料の引き上げが予想されるが現状はどうか。

答弁 浜田独自の運営費も助成しているが、保育所の中途入所希望が多く保育士の確保が課題だ。

質問 支援、農業生産の向上、企業誘致など経営安定と自主財源確保に取組む。

答弁 中山間地の農業は交渉によつては厳しい状況が予想される。県・市・JA・農業者と連携協力して、生産から販売の体制整備を進める。



牛 尾 博 美
牛 尾 博 美

質問 浜田市独自のまちづくり総合交付金事業から1年経過したが、現状と今後の展望は。

答弁 現在22団体が設立され、申請率84%で好評である。今後は、未申請地区に他地区的活動事例などを紹介して事業を推進していく。

質問 育て支援について、浜田市の待機児童解消行政として保育所への支援策と、更に政府は総合子ども園を計画しているが、親や現場では不安や戸惑いもある。市長の所見は。

答弁 給付費の急激な伸び、保険料がかなり高くなると見込む。住む市町村で保険料が異なる状況で、今後財源構成を見直し、保険者の負担の軽減等国や島根県に要望していく。

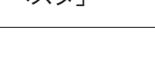
質問 中山間地の衰退は林業の崩壊が発端と言ふ。浜田市の「儲かる林業」の今後の展望は。

答弁 当市は小規模で集約化が進みにくく木材のコストが高い。高性能林業機械「ハーベスター」の導入を支援し、笠松市民の森を軸に川上から川下まで、総合的な流通システムの効率性や人材養成など、必要な基盤整備に取り組む。

質問 TTP交渉は米が危惧されるが、市の農業の将来はどうか。

答弁 公民館は、県や市の支所の重要な役割を担つており、従事する職員の重荷となつていいのか。

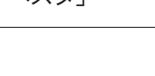
質問 自治区を結ぶ「20分間構想」の今後の展望は。



質問 ここ数年前から、引き続き県に事業化を急ぐよう要望する。しかし一部未改良があり、一体感醸成のためにも、引き続き県に事業化を急ぐよう要望する。

答弁 公民館は、地域の重要なコミュニケーションの場であり、人づくり・まちづくりに大きく貢献している。市民に愛される公民館を目指す。

質問 高性能林業機械「ハーベスター」



質問 また、全てのこととも子育て家庭を社会全体で支援する制度で、市として本制度に期待し、その環境づくりに努める。

答弁 公民館は、県や市の支所の重要な役割を担つており、従事する職員の重荷となつていいのか。

質問 20分間構想は、県道改良として進めている。しかし一部未改良があり、一体感醸成のためにも、引き続き県に事業化を急ぐよう要望する。



質問 また、全てのこととも子育て家庭を社会全体で支援する制度で、市として本制度に期待し、その環境づくりに努める。

答弁 公民館は、県や市の支所の重要な役割を担つており、従事する職員の重荷となつていいのか。

質問 20分間構想は、県道改良として進めている。しかし一部未改良があり、一体感醸成のためにも、引き続き県に事業化を急ぐよう要望する。



質問 また、全てのこととも子育て家庭を社会全体で支援する制度で、市として本制度に期待し、その環境づくりに努める。

答弁 公民館は、県や市の支所の重要な役割を担つており、従事する職員の重荷となつていいのか。

質問 20分間構想は、県道改良として進めている。しかし一部未改良があり、一体感醸成のためにも、引き続き県に事業化を急ぐよう要望する。



質問 また、全てのこととも子育て家庭を社会全体で支援する制度で、市として本制度に期待し、その環境づくりに努める。

答弁 公民館は、県や市の支所の重要な役割を担つており、従事する職員の重荷となつていいのか。

質問 20分間構想は、県道改良として進めている。しかし一部未改良があり、一体感醸成のためにも、引き続き県に事業化を急ぐよう要望する。

質問 また、全てのこととも子育て家庭を社会全体で支援する制度で

連携と挑戦で進められる

事業の具体策は！



原 田 義 則
進風クラブ

質問 大津波を想定したハザードマップの充実と避難路確保、市民防災意識の高揚について問う。

答弁 洪水と土砂災害についての防災ハザードマップは作成しており、この度の大震災を踏まえ津波ハザードマップを作成する。この津波ハザードマップは5月末に配布し、説明会や防災研修会などを開催し、市民の皆さんへの周知と防災意識の高揚に努めていく。

また、避難所や避難路は、地域の実情把握しておられる皆さんと一緒に決めさせていたぐ事が有效であり大切だと考えている。

質問 認定農業者への新たな支援策について問う。

答弁 平成24年度から農業機械や施設等の新規導



高性能林業機械「ハーベスター」

入の更新に対して助成を行い認定農業者の支援をしていく。

質問 林業振興について問う。

答弁 予防医療体制と本來の医療体制両面における課題と対策に関して問う。

質問 予防医療体制と本來の医療体制両面における課題については、検診センター・や麻酔科・神経内科・血液内科・小児科などの特定診療科の常勤医の不在や不足であると認識している。

これらの診療科においては、非常勤医師等により対応されているが、全般的な課題であるので、臨床研修医制度の見直しなど、医師の診療科偏在、地域偏在解消に向けて、市長会等を通じて国や県への要望活動を継続していく。

連携し国事業と同等程度の支援を順次行い全船存続に向けた取組を進めていく。

質問 図書館整備における地域経済への影響について問う。

答弁 中央図書館及び三隅図書館の周辺整備を含めた事業費が25億円になり、これが一時的な経済的インパクトになると考

えていた。また、建設後、既存の周辺商業施設における来客数の増加や状況によっては、周辺への商業施設の新規出店も期待できるのではないか

質問 「社会保障と税の一体改革」や震災復興、原発処理、TPPなど混迷する政治の現状認識を問う。

答弁 持続可能な社会を目指すことを掲げられ、国民の利益と国の未来に重きを置いたものとして一定の評価をしている。

しかし、震災の復興策やTPP交渉など諸課題が遅々として進まず、地方が求める結果に至っていないと認識している。

質問 雇用の安定こそが社会の基盤である。浜田市における雇用の現状はどうか。

答弁 雇用の安定は、安心して暮らせることに直結している。浜田市の有効求人倍率は、1.10倍で、全国平均0.71倍を大きく上回っている。昨年、地元に誘致し

革の取組の具体的な支援策については、まず沖合底曳網漁船1力統について、国の事業を活用し、リッシュ等による収益性改善への取組を行う。残

る4ヶ統についても県と

連携し国事業と同等程度

の支援を順次行い全船存

続に向けた取組を進めて

いく。

質問 予防医療体制と本

來の医療体制両面における課題と対策に関して

問う。

質問 予防医療体制と本

來の医療体制両面における課題については、検診

センター・や麻酔科・神経

内科・血液内科・小児科

などの特定診療科の常勤

医の不在や不足であると

認識している。

これら

の

診

療

科

におい

ては、非常勤医師等によ

り対応されているが、全

國的

な

課題

であるので、

臨

床

研

修

医

制

度

の見直し

など、医師の診療科偏

在、地域偏在解消に向

けた抜本的な施策の展開に

ついて、市長会等を通じ

て国や県への要望活動を

継続していく。

三隅図書館の完成イメージ



三隅図書館の完成イメージ

雇用の安定こそが社会の基盤

雇用の安定こそが社会の基盤である。浜田市における雇用の現状はどうか。

質問 雇用の安定は、安

心して暮らせることに直

結している。浜田市の有

効求人倍率は、1.10

倍で、全国平均0.71

倍を大きく上回ってい

る。昨年、地元に誘致し

た(株)デルタC&Sをはじ

め、工場等の新增設で

200名を超える新規雇

用に結びついている。



新 田 勝
市民クラブ

「社会保障と税の一体改革」や震災復興、原発処理、TPPなど混迷する政治の現状認識を問う。

質問 農業の再建は、TPP交渉に関わらず、その強化が問われている。

答弁 弥栄の農業は、農工連携の6次産業に組まれている。近年、こうした6次産業化は他の自治区にも拡大されつつあり、有機栽培や加工品



新規雇用でフル稼働中の(株)デルタ C & S



水産業振興は喫緊の課題

○浜田・三隅道路の部分
供用開始の影響
○合併7年目の検証
○産業経済の振興と地場
産業の興亡
○林業の開発
○水産業の振興
○海外友好都市交流
○格差社会における教育
現場の多様性



弥栄町木都賀地区の田園風景

いのち最優先で
津波等の防災対策を！

A black and white portrait of Kōichiro Kōjō, a man with dark hair and a mustache, wearing a suit and tie. The portrait is enclosed in an oval frame.



早期の防災対策を！

質問 ボランティア作業等から、津波対応で学んだことは、「津波でんでんこ」という言い伝え、「とにかく早く、てんでんばらばらに高台へ逃げろ」、そして「一日しのげれば何とかなる」という経験談だった。この視点で、標高の色分けをした「津波ハザードマップ」の作成等が必要ではないか。



宮城県気仙沼市の被害状況

地が年々増加傾向にあるが、農家が人手不足の一方で、定年後の生きがいを求めておられる方は増加傾向にある。そこで一つの提案として、農家に作れなくなつた農地を提供してもらい、市が一元管理することにより、希望者に貸し出し、誰でも気軽に野菜作りなどができる環境ができないかと思う。

遊休農地・耕作放棄地対策と定年後の生きがいづくりにと提案するがどうか。

農業参入企業や認定農業者への貸し付けを行つて提案のように、定年後の生きがいづくりに農地の貸し出しを希望される方と、遊休農地をマッチングできれば、地域活性化、遊休農地の利用促進を図るうえで、とても有意義なものとなる。今後部内で議論していくといふ。

①津波避難マップの策定
②地方版CSR（企業の社会的責任）の推進
③介護保険事業について
④障がい者施策について
⑤財政運営について
⑥学校教育について
⑦学校施設について

質問 高齢者の孤立化や家族の絆の再生を図るとともに、施設入居を抑制し、介護保険の「コスト軽減」の目的もある3世代同居世帯を推奨し、支援すべきでないか。

**3世代同居世帯を
推奨し支援を！**



のどかな風情が今もなお残る弥栄町

活かした起業支援の拡充

答弁 就労機会の拡充は、市の無料職業紹介所で隨時求職情報の提供を行い、起業支援は、創業

後の負担緩和を目的に、
黒汲び日本政策金融公庫

が実施する総業者向け融資の信用保証料と利息の1年間の補助制度を設けている。

遊休農地を生きがい対策に

公明クラブ
佐々木 豊治



A black and white portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a dark tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression. The portrait is set against a plain, light-colored background.

公明クラブ
佐々木 豊治



ライディングパーク

存続は市民の視点で



牛 尾
昭

質問 検証結果によると今日の破たんを招いた結果について言及がないが、その責任は。

答弁 リーダー不在や当初計画の甘さ、計画判断に誤りがあったと認識している。

質問 総投資額は、約25億円、市の実質持ち出しあり、約11億円で一度も黒字がない。外部評価は廃止だが、存続を模索しているのはなぜか。

答弁 株主や地元の強い要望があり、金城にとって必要不可欠な施設であり残したい。

質問 赤字垂れ流しの施設が、誰にとつて必要なのか。

答弁 出資者の金城町の発展に寄せる想いがある。当初計画から破たんが予測でき、むしろ出資者は被害者では。



【馬に罪はない】施設内にある厩舎を視察

質問 検証結果によると今日の破たんを招いた結果について言及がないが、その責任は。

答弁 多額の累積赤字で、第3セクターは解散したが、地元自治会からの要望もあり、存続の方に向で考えている。

質問 トップの決断が重要だが、市長の認識は。

答弁 この施設は、市的重要な財産でもあり、検討チームで、存続の方向で検討していく。

質問 外部委員を加え、公開の場で廃止を含め検討すべきでは。

答弁 ご指摘のとおりである。

質問 地産地消推進条例施行後の取組は。

答弁 平成22年度に産地強化協議会を立ち上げおり、具体的には浜田市生産拡大対策出荷奨励事業での手数料補助や地元地消推進プロジェクト事業での学校給食への地元特産果樹の提供、はまだ食の大使、三國清三シェフによる味覚授業、食のセミナー等を実施しており、地元木材の利活用も市内全小学校児童の机天板への導入や長浜小新校舎での地元産材使用など、

質問 地産地消推進条例施行後の取組は。

答弁 平成22年度に産地強化協議会を立ち上げおり、具体的には浜田市生産拡大対策出荷奨励事業での手数料補助や地元地消推進プロジェクト事業での学校給食への地元特産果樹の提供、はまだ食の大使、三國清三シェフによる味覚授業、食のセミナー等を実施しており、地元木材の利活用も市内全小学校児童の机天板への導入や長浜小新校舎での地元産材使用など、



大 谷
弘 幸

地産地消の積極的推進を

質問 食育推進ネットワーク会議や学校関係者等と幅広く連携を深めて取組む方針であり、24年度には三國シェフとの連携を更に密にして、地元食材によるレシピを考えいただき、市内外に広くPRしたい。

答弁 地元木材の利用促進にも積極的に努める。今後も、地産地消推進における「食育」・「木育」を通じて地域への愛着を深める施策の実施に向け、目標をもって計画的に推進する考えである。



三國清三シェフによる授業風景

質問 今後の推進体制と推進計画はどうか。

答弁 体制については、

障がい福祉の向上を～ 石見神楽の新たな展開



芦谷英夫

質問 障がい者自立支援法改正についての評価は。
答弁 利用者負担が応能負担に変更され、サービスが共通の制度で提供され、サービスが公平に利用できる。社会参加の機会や就労支援が充実し、就労移行支援事業が強化され評価できる。

答弁 年末年始・土日のホームヘルプサービス事業所は10カ所あるが十分ではない。事業所と連携し、自立支援協議会で利用者の声や要望を把握し、ニーズに応えて行きたい。



石見神楽 ~ひびく八調子の鼓動~

質問 場合は2個交付している。トライックを改装した石見神楽キャララバンの整備は。

答弁 石見神楽をPRする一手段としてユニークな手法の提案ではあるが、課題もあり研究したい。

質問 水産業の要「浜田漁港」を発展させていく上でどのよつなビジョンを持ち、何を実行していく

答弁 まずは、基幹産業であるまき網、底引きの構造改革を推進する。次に、新たに処理能力の高い冷凍冷蔵庫の整備、さらに老朽化した4号市場を水揚げされた漁獲物を高鮮度に保つことのできる高度衛生管理型荷捌所として整備するなど、船上、陸上での一体的な取組により安全・安心な

おりに運営すると、家賃体系が変わることになる住民が多くいるが、その対処策は。

答弁 住民には家賃はそのまま引き継ぐことを市が雇用促進住宅を購入する時に説明した。このような状況になつた理由は期間と家賃の関係について条例附則で規定されていなかつたからだと認識している。

条例規則と実体の齟齬について、早急に対処していく。

質問 当該施設は管理会社である株かなぎが本年3月末で解散し、4月から新たな管理運営者を求

めることだが、当該施設の設立から今日に至るまでの経緯は、
答弁 平成元年度に地元有志により構想がもちあがり、平成4年3月に資本金5千万円で第三セクターを設立。平成7年4月から営業を開始したが、営業開始までに9千6百万円の累積赤字を計上し、その後も赤字額の増加が続き、平成22

質問 管理者は決定していない。
観光面では厳しい
状況であつたが、教育や
福祉面での貢献度は高い

と感じている。こういう面での活用の考えは無いのか。また、4月以降の管理はどうするのか。

答弁 本庁の次長級や企
城支所長等で組織する検
討チームを立ち上げ、当
該施設の有効利用を図
ていくために、教育や福
祉等あらゆる面での活用
策を検討する。施設の管
理については、当面、市
で管理する。



全国障害者馬術大会で賑わうライティングパーク

水産業の要「浜田漁港」 を魅力ある港に！



笛田卓

良質の水産物が安定的に供給できる漁港を目指す。
水産物の販売力の強化のため、消費者ニーズに対応した新商品の開発やブランド化については調査・研究していく。

答弁 まずは、基幹産業であるまき網、底引きの構造改革を推進する。次に、新たに処理能力の高い冷凍冷蔵庫の整備、さらに老朽化した4号市場を水揚げされた漁獲物を高鮮度に保つことのできる高度衛生管理型荷捌所として整備するなど、船上、陸上での一体的な取組により安全・安心な

おりに運営すると、家賃体系が変わることになる住民が多くいるが、その対処策は。

答弁 住民には家賃はそのまま引き継ぐことを市が雇用促進住宅を購入する時に説明した。このような状況になつた理由は期間と家賃の関係について条例附則で規定されていなかつたからだと認識している。

条例規則と実体の齟齬について、早急に対処していく。

質問 当該施設は管理会社である株かなぎが本年3月末で解散し、4月から新たな管理運営者を求

めることだが、当該施設の設立から今日に至るまでの経緯は、**答弁** 平成元年度に地元有志により構想がもちあがり、平成4年3月に資本金5千万円で第三セクターを設立。平成7年4月から営業を開始したが、営業開始までに9千6百万円の累積赤字を計上し、その後も赤字額の増加が続き、平成22

質問 管理者は決定していない。
観光面では厳しい
状況であつたが、教育や
福祉面での貢献度は高い

と感じている。こういう面での活用の考えは無いのか。また、4月以降の管理はどうするのか。

答弁 本庁の次長級や企
城支所長等で組織する検
討チームを立ち上げ、当
該施設の有効利用を図
ていくために、教育や福
祉等あらゆる面での活用
策を検討する。施設の管
理については、当面、市
で管理する。



平石誠

上下水道行政を質す！



田畠 敬二



三保三隅浄化センター

質問 簡易水道と上水道が、平成28年度に統合されると、統合後の水道料金は。

答弁 平成22年度の決算時点で、統合で発生する必要額のみのアップ率は、浜田自治区が50%、金額三隅自治区が55%、金額にすると自治区間の格差もあるが、統合後の統一単価は、3900円になる。現在、浜田自治区が

2599円、三隅自治区が2799円であり、金城自治区、旭自治区、弥栄自治区は、いずれも3906円である。

質問 23年4月から下水道使用料金が、従来の人頭制から従量制に移行した結果、水道料金が高い自治区があることを認識されているか。

答弁 2ヶ月で40m³使用

質問 簡易水道と上水道が、平成28年度に統合されると、統合後の水道料金は。

答弁 平成22年度の決算時点で、統合で発生する必要額のみのアップ率は、浜田自治区が50%、金額三隅自治区が55%、金額にすると自治区間の格差もあるが、統合後の統一単価は、3900円になる。現在、浜田自治区が

2599円、三隅自治区が2799円であり、金城自治区、旭自治区、弥栄自治区は、いずれも3906円である。

質問 23年4月から下水

道使用料金が、従来の人頭制から従量制に移行した結果、水道料金が高い自治区があることを認識されているか。

答弁 2ヶ月で40m³使用



岡本正友

質問 24年度新学習指導要領の必修化の柔道について、安全面が取沙汰されているが、実施にあたる金城・旭・弥栄の各自治区は、2037円と安くなっている。

質問 使用料を人頭制から従量制に移行の際、地域説明会で家庭菜園等に使用する水道水には、別メーターを設置するとの説明であったが現状はどううか。

答弁 メーターの貸与は、三隅自治区で7件、弥栄自治区で4件である。今後、貸与については、個々に相談・協議し、対応する。

質問 地域を担う次世代の子供たちへの定住に向けた取組について伺う。

答弁 義務教育の段階では、ふるさとの素晴らしさを伝え、ふるさとを支える若者の力が必要であることを伝えていくことが重要であると考える。また、修学時からキャリア教育や人材育成を積極的に推進するために、産業振興機構を中心に、今

質問 24年度新学習指導要領の必修化の柔道について、安全面が取沙汰されているが、実施にあたる金城・旭・弥栄の各自治区は、2037円と安くなっている。

質問 使用料を人頭制から従量制に移行の際、地域説明会で家庭菜園等に使用する水道水には、別メーターを設置するとの説明であったが現状はどううか。

答弁 メーターの貸与は、三隅自治区で7件、弥栄自治区で4件である。今後、貸与については、個々に相談・協議し、対応する。

質問 地域を担う次世代の子供たちへの定住に向けた取組について伺う。

答弁 義務教育の段階では、ふるさとの素晴らしさを伝え、ふるさとを支える若者の力が必要であることを伝えていくことが重要であると考える。また、修学時からキャリア教育や人材育成を積極的に推進するために、産業振興機構を中心に、今

質問 以前の取組から、指導方法、経験が蓄積されていると考へているが、より研修を重ね、指導力の向上を図り、また外部講師やT・T授業を利用しながら安全面に留意したい。

質問 住民に分かり易い構築について伺う。

答弁 マニュアルやチェックリスト等を作成、より充実させ説明や情報提供のサービスに努めたい。

質問 住民に分かり易い構築について伺う。

答弁 マニュアルやチェックリスト等を作成、より充実させ説明や情報提供のサービスに努めたい。



三浦美穂

質問 館長選出への実施状況と館長の決定は。

答弁 広く全国から公募し、18名の応募のうち16名が受験、合格者4名でグループディスカッショーン、個人面接に4名の外部委員も加わるなかで、厳正に審査した結果、1名の館長を決定した。

質問 レファレンス（参考・参照）業務に対応するために、司書有資格者が大事だが、図書館スタッフ配置の考えは。

答弁 具体的には、今後館長候補者を交え検討するが、日中9名程度、夜間5名程度での運営が可能なよう調整する。

質問 学校図書館、地域図書館との連携への環境整備はどうか。

答弁 学校図書館に対する支援は、特に図書館から遠距離の小中学校に



旧医療センター跡地に建設予定の新図書館(浜田市立中央図書館)のイメージ

ふるさとを支える力 若者の定住対策を！

明年5月完成予定の新図書館の運営は



田畠 敬二



岡本正友



三浦美穂

は、県寄託団体貸出用図書を最寄りの地域図書館へ搬送する取組を行う。

質問 障がいを持つた方へのサービス提供態勢は。

答弁 車いす・点字ブロツク・多機能トイレを設置し、デイジー図書の閲覧サービスや専用プレーヤーの館内貸出しも予定している。

質問 地域医療を守る国保治療所連合体の体制

答弁 は、県寄託団体貸出用図書を最寄りの地域図書館へ搬送する取組を行う。

質問 障がいを持つた方へのサービス提供態勢は。

答弁 車いす・点字ブロツク・多機能トイレを設置し、デイジー図書の閲覧サービスや専用プレーヤーの館内貸出しも予定している。

質問 地域医療を守る国保治療所連合体の体制

答弁 は、県寄託団体貸出用図書を最寄りの地域図書館へ搬送する取組を行う。

市内の各地域で議会報告会を開催します

—議員が3月定例会の審査経過など報告—

浜田市議会では、今年から議会報告会を開催いたします。議員27名全員が4班に分かれて右表のとおり、10の地区に分けて、各地区にある公民館などを会場として開催する予定です。

議会報告会のなかでは、市民の皆様に、先に行われた3月市議会定例会の議案審査の状況等を中心にお知らせします。

また、昨年12月の定例会で特別委員会を設置し、調査・検討しております。我々議員の定数についても、その検討内容を報告するとともに、市民の皆様から、ご意見などいただきながら、今後の議会活動の取組に活かしていきたいと考えています。

市民の皆様は右表のどの会場に行かれても結構ですので、ご来場を議員一同、心よりお待ちしております。

議会報告会の開催日時と会場

| 開催日 | 開催時間 | 地区(地域) | 開催会場 |
|---------|---------------|--------|-------|
| 5/14(月) | 19:00 ~ 20:30 | 長浜 | 長浜公民館 |
| | 19:00 ~ 20:30 | 金城 | みどり会館 |
| 5/15(火) | 19:00 ~ 20:30 | 周布・大麻 | 周布公民館 |
| | 19:00 ~ 20:30 | 三隅 | 三隅公民館 |
| 5/16(水) | 19:00 ~ 20:30 | 浜田 | 浜田公民館 |
| | 19:00 ~ 20:30 | 旭 | 旭センター |
| 5/17(木) | 19:00 ~ 20:30 | 国府 | 国府公民館 |
| | 19:00 ~ 20:30 | 石見 | 石見公民館 |
| 5/18(金) | 19:00 ~ 20:30 | 美川 | 美川公民館 |
| | 19:00 ~ 20:30 | 弥栄 | 弥栄会館 |

三階小学校と長浜小学校の6年生が議場で議会のしくみなどを学習

2月8日(水)に浜田市立三階小学校の6年生が、2月10日(金)には、浜田市立長浜小学校の6年生が、市議会の議場で「議会のしくみ」を学習しました。児童の感想文のなかから一部を下記のとおり、ご紹介します。



☆市議会議場で学習した児童たちの感想文から(一部抜粋)☆

- 私は、初めて市議場に入ったとき、テレビとかで観たことある場所が目の前にあって「すごくキレイ」と思いました。しかも、本当に使っている席とかに座させていただいたので、すごくうれしかったです。
- 私も、いつか会議をしているところ、傍聴席にすわって見てみたいです。それで早く選挙してみたいと思いました。
- ぼくは、最初議会の中に入る前、もうちょっと小さいところだと思っていました。しかし入るととても大きくてきれいな場所でした。市議会に行って分かったことは、市議会議員が28人いたことです。ぼくは傍聴席にも行ってみたいです。傍聴席には、簡単な手続きで入れるらしいので機会があれば入ってみたいです。
- 私は、見学をして将来、議員になりたいなあと思いました。すごくおもしろそうだったし、市民の意見をまとめるのはすごいと思ったからです。議員の人は、今女性が一人だと聞いたので、私もなってみたいなあと思いました。最初は、議会とかはあまり興味がありませんでした。でも見学に行って実際に見てみると将来議員になりたいなあと思いました。浜田市をもっといい市にしたいです。
- 市議会の説明を聞いている間、ぼくは緊張して手足がかたまってしまい、質問タイムの時も、緊張して手を挙げられませんでした。ぼくは、議場に来ることはないかもしれないけど、がんばって勉強して市議会議員になりたいです。
- 私は、今まで市議会はいつも何をしているとか、どういう人たちが集まって話しているのかなど分からなかったです。でも今日の学習で、何をしているとか、どのような人がいるなども分かってよかったです。私も、早く20才以上になって投票してみたいと思います。
- 一番心に残っているのは、仮議長というのがあるということです。ぼくは以前から議長も副議長も都合が悪くなるとどうなるのかな?と疑問に思っていました。今回の学習で知ることができて本当に良かったです。
- 一番心に残っているのは、市議会はどのような仕事をしているのかです。ぼくは今日の市議会見学で、議会事務局の人の質問への答で全く分からなかったことが説明できるまで理解することができました。初めて入った議場は、非常に静かで議長をやらせていただいた時は、とても緊張しました。市議会の雰囲気が少しだけ分かった気がします。何もかもが貴重な体験で、また何もかも初めての体験でした。貴重なお時間ありがとうございました。
- 今日の市議会見学で、議員に定年がないのにおどろきました。今まで職員と同じように定年があると思っていたからです。議員の苦労もよく分かって、浜田市の仕事についても、何をやっているのかよく分かりました。

美牛山三西佐布笹岡田
浦尾田浦田々施田本畑
美義保清豊賢正敬
樹昭喜法久治司卓友二
委員委員委員委員委員委員
委員長 副委員長

【編集委員】

早い復旧を念願するもの
です。(記) 岡本正友
の時代として刻まれることでよう。大自然の脅威に、日本の再生と防災への挑戦が始まります。日本人の誇りと勇気と絆の結束力により、一日も表に、この平成が大災害がなされたと思っています。いつしか日本史の年の日本人の祈りが結集され、哀悼と防災への誓いを包み嚴肅のなかに多くの業が止まり、静寂が辺り合団に、全ての会話や作業が止まり、静寂が辺り午後2時46分に、黙祷が行われました。「始め」の経つた3月11日に全国各地において、被災時刻の午後2時46分に、黙祷が行われました。

あとがき

〔議長なんでもメール〕 議長や市議会に対するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。
必ず議長自ら回答させていただきます。(住所・氏名を明記の上、送信ください)
E-mailアドレス : chairman@city.hamada.shimane.jp